NIE実践報告

1．タイトル：☆環境学習～生徒会から「環境問題」の取り組み発信～

2．学校名

大阪府岸和田市立北中学校

3．実践者名（代表者名）

重本　匡陽

4．学年

第3学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間　207人

6．単元（本時の学習課題）名

自分たちにできる環境活動を考える

7．目標（狙い）

記事を読み、新聞作りを通して様々な環境問題を知る。そして、自分たちが直面している環境状況を理解し、地球に住む一人として取り組める活動を考えさせる。

8．評価の視点

記事や記者の講演などを通して、自分の考えをまとめ表現できたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

総合(2時間):新聞に親しむ、新聞作り・新聞を読もう　読解　　総合(2時間):ビデオ・感想、発表
総合(2時間):新聞記者講演「地球はいま」　　学活(1時間):感想

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

11月12日(2時間:総合)NIE環境学習(1)
・新聞に親しむ　新聞作り　(5限目)
・新聞を読もう　読解　　(6限目)
11月19日(2時間:総合)NIE環境学習(2)
・ビデオ「サンゴはどこへいったの」を見て　(5限目)
・まとめ、感想、発表　　(6限目)
12月 3日(2時間:総合)NIE環境学習(3)
・講演「地球はいま」新聞記者来校
12月 6日(1時間:学活)NIE環境学習(4)
・講演を聞いて、さらに自分の考えをまとめる(感想を新聞社に送る)
・自分たちでできる環境への取り組みを考える
2009年5月(放課後)　・生徒会による取り組み　ECOキャップ運動スタート　(生徒会新聞発行)

11．児童・生徒の反応、感想・意見

普段、新聞にふれることが少ないため、とても興味を持って活動をしていた。また、生徒は、自分の生活や人生に関することに関しては真剣に取り組み、自分の意見を表現してくれた。

12．成果と課題

(1)興味ある記事を多く読むことで、文章の読解を深めてくれた。
(2)『生徒力』(「生徒が生徒らしくある力」、つまり「自ら学び、考え、他者と関わり、伝える力」)が向上した。このNIEを通じて社会や生活とつなげて扱うことで、自分もできることがあると気付き、大きなモチベーションを持たせることができた。そして、生徒自らが活動していくことに通じた。
(3)学校全体の取り組み(ECOキャップ運動)につながった。
(4)課題は、地域への取り組みにも広げていくこと、そして生徒会新聞を軌道に乗せていく事。